

薩摩金山私学校

SATSUMA -KINZAN -SHIGAKKO

Presents



薩摩で生まれた伝統工芸品 薩摩ボタンとは !?

江戸末期に倒幕運動などの軍資金を得るために制作された『薩摩ボタン』。そこで得られた外貨は、軍資金として戊辰戦争などで使われたとされています。その絵柄は、当時の生活風景や花鳥風月など日本的なものが多く、ジャポニズム文化の一つとしてボタンコレクターには大変貴重なものとされています。非常に細かい作業ゆえに作る窯元も減り一時は廃れましたが、そんな鹿児島県の歴史と伝統が詰まった薩摩ボタンを現代風にアレンジして甦らせた絵付け舎『薩摩志史』の薩摩ボタン絵付け師 室田志保さんをお招きして、薩摩ボタンの歴史と技法、今後の活動などについてお話いただきます。

2014年 3月 16日 (日) 受付 12:30 - 13:00 ~ 14:30

場所 薩摩金山蔵 受講料 1,000円 定員 60名

定員に達し次第、申込終了とさせていただきます。お早目にお申込み下さい。

初めて参加される方は、登録料300円をいただきます。

明治初期に作られたアンティークのボタンもご覧いただけます。

お問合せ・お申し込みはこちらまで。

薩摩金山私学校事務局（瀨田酒造内）

tel 0996-36-5771(月～金 9:00～17:30)

薩摩金山蔵

tel 0996-21-2110(水曜日定休)

shigakkou@satsuma-kinzangura.com